



未経験者
大歓迎

参加費

500円/回

中学生・高校生
無料

演劇を使って新しい世界を見てみよう

演劇をつくることや上演すること自体を目的とするのではなく、演劇の手法や力を使って、日常の出来事を見直したり、違う視点を持てたり、様々な気づきや学びを得ることを目的とした演劇ワークショップを開催します。知りたいこと、対処したいことがすぐに解決とはいかないまでも、世界観がちょっと変わったりするかもしれませんよ。演劇の経験は問いません、お気軽に参加してみませんか？

プログラムは、**4**種類！どれもなかなか体験できない貴重な内容になっています。

第1回 10.14 (SAT) 感情 きもちのグラフ、かんじょうのフラグ

第2回 10.22 (SUN) 自分・自分史 あなたが主役の物語

第3回 10.28 (SAT) 学び 「五・七・五・七・七」31文字が教えてくれること

第4回 10.29 (SUN) 防犯・安全 快適に、安全にコミュニケーション

時間 全日程 14:00～17:00 定員 各回20名 ※先着順。定員になり次第締め切ります。

申込方法 申込みフォームにアクセスして、必要事項を記入してください。
対象がプログラムによって異なりますので、内容を確認してからお申し込みください。
複数プログラムに申し込む場合は、プログラムごとフォームに入力してお申し込みください。

申込みフォームはこちら

<https://business.form-mailer.jp/fms/11e78cd3210402>



>>> 具体的な内容は裏面へ

第1回 演劇 × 感情

きもちのグラフ、かんじょうのフラグ

【日時】10月14日(土) 14:00 ~ 17:00

【対象】中学生以上の方

【進行役】山田恵理香(演出家/空間再生事業 劇団 GIGA)

喜怒哀楽を感情豊かに、俳優さんが表現しているイメージのある演劇!?!俳優さんは、本当に怒ってるの?泣いてるの?演じるうえで大事なものは、本当の感情がどうなってるかではなくて、観ている人にどう伝わるかなんだそう。感情表現が苦手、私の感情伝わりにくいのかな、人に比べて私の喜び伝わってないのかな?今回のワークショップでは、喜怒哀楽をどう表現するかではなく、日常的な事や目にする経験したことのない出来事から、人はどういう感情を読み取っているかを考えてみます。



山田 恵理香(やまだ えりか)

舞台演出家、演技指導者。1995年より福岡を拠点に、シンガポール・中国・韓国など東アジアを中心に活動。「お祭り演劇」を好み、野外劇や街頭演劇の企画・演出も行う。国内外の演劇祭への招聘公演やプロデュース公演の演出も多数。俳優育成や演劇普及活動にも力を注ぎ、ワークショップ事業の進行役や市民ミュージカルの演出も行う。2005年利賀演出家コンクールにて優秀演出家受賞。空間再生事業劇団 GIGA 所属。一般社団法人日本演出者協会理事。

第2回 演劇 × 自分・自分史

あなたが主役の物語

【日時】10月22日(日) 14:00 ~ 17:00

【対象】45歳以上(初体験者歓迎)

【進行役】有門正太郎(演出家・俳優、劇作家、有門正太郎プレゼンツ主宰)

これまでの私には、どんなことがあったらう?きつと色々ありましたよね。自分のこと、自分の経験、歴史、エピソードを演劇ワークショップの3時間、頭と身体を使って考えたり、思い出したりして、、、忘れていた私のドラマチックなあんな出来事!これやり残してる!なんて思い出すこともあるかもしれませんね。演劇経験は必要ありません、気負わず、自由に、演劇で楽しく、自分のこと、自分の歴史を振り返らせてみませんか。



有門 正太郎(ありかど しょうたろう)

1975年生まれ北九州市出身。倉本聰主宰「富良野塾」、泊篤志代表「飛ぶ劇場」を経て、2005年「有門正太郎プレゼンツ」を始動。「笑顔になれば何でも出来る」を合い言葉に作、演出も務め全国でワークショップやアウトリーチ活動も行っている。俳優では様々な全国ツアー公演等に参加。高校演劇専科での講師経験を活かし、北九州芸術劇場「日韓合同キャンプチャレンジ!えんげき」の総合演出等も務める。役者として主な出演作品、富良野塾公演『今日、悲別で』『走る』(作・演出:倉本聰)、北九州芸術劇場プロデュース『錦鯉』(作・演出:土田英生)『江戸の青空』(作:千葉雅子、演出:G2)、時空の旅『シラノ・ド・ベルジュラック』(演出:永山智行)など。(一財)地域創造リージョナルシアター登録派遣アーティスト

第3回 演劇 × 学び

「五・七・五・七・七」 31文字が教えてくれること

【日時】10月28日(土) 14:00 ~ 17:00

【対象】高校生以上の方

【進行役】田野邦彦(演出家)

学校で、「国語」「算数」「理科」「道徳」などの教科単元を、演劇的な手法を使って学ぶ授業が広がっています。今回のワークショップは、国語「短歌」単元で演劇手法を使って行われている授業(ワークショップ)を実際に体験してみます。教育現場で演劇がどのように活用されているのか、学習と演劇?そもそも、「学び」とはなんなのか?身体を動かして考えてみましょう!学校の先生や教育現場の演劇的手法に興味のある方はもちろん、短歌が好きという方もぜひ。



田野 邦彦(たの くにひこ)

演出家、ワークショップ・デザイナー。洗足学園音楽大学ミュージカルコース准教授。NPO法人 PAVLIC 理事長。演劇ユニット RoMT (ロムト) 主宰。ミドルセックス大学大学院(イギリス・ロンドン) MFA 演劇・演出コース修了。2002年4月から2023年6月まで青年団演出部に所属。2005年に演劇ユニット RoMT を結成。

近年はオペラやミュージカル作品、2022年には浅草オペラの演出を手掛けるなど、ジャンルにとらわれない活動を展開している。またワークショップ・デザイナーとして、幅

広い社会テーマと演劇をかけたワークショップの企画・実施および人材育成事業を、全国各地の自治体、教育機関や企業等との協働で数多く手掛ける他、青山学院大学、慶應義塾大学、四国学院大学、大学院大学至善館などで講師を務めている。

第4回 演劇 × 防犯・安全

快適に、安全にコミュニケーション

【日時】10月29日(日) 14:00 ~ 17:00

【対象】高校生以上の方

【進行役】武田信彦(うさぎママのパトロール教室主宰・安全インストラクター) 田野邦彦(演出家)

地域や学校、生活において、「快適」「安全」に過ごすために必要な「コミュニケーション」って何でしょう?家への帰り道、電車の中で、起こるかもしれない不快な事、トラブルを、コミュニケーションによってその場をより良い方向に持っていけることや、その方法を、安全の専門家、演劇の専門家と一緒に身体を動かして考えてみます。演劇で地域が安全・快適に!まずは安全に快適にご参加ください。



武田 信彦(たけだ のぶひこ)

うさぎママのパトロール教室主宰・安全インストラクター。犯罪防止NPOでの実践活動を経て、市民防犯・子どもの安全を専門とする講師として活動中。市民防犯のバイオニアとして、警察庁、文部科学省をはじめ、全国各地で多数の講師や助言を務めるほか、メディア、著書、コラムでも発信中。著書には「活かそうコミュカ!中高校生からの防犯(べりかん社)ほかがある。フジテレビ「ホンマでっか!?TV」にも出演。

申込みは、こちらのウェブサイトから >>>



主催

福岡市立西市民センター

Fukuoka City Nishi Civic Center

〒 819-0005 福岡市西区内浜1丁目4-39

【TEL】092-891-7021 【FAX】092-891-0503

【WEB】<https://nishi-civic-center.jp/>

【制作協力・コーディネート】真崎千佳・高橋知美(キューズリンク)